



2025年10月17日開催

個人投資家向け会社説明資料

会社概要

商号 株式会社STG

銘柄コード 5858（東京証券取引所）

創業年月 1975年11月

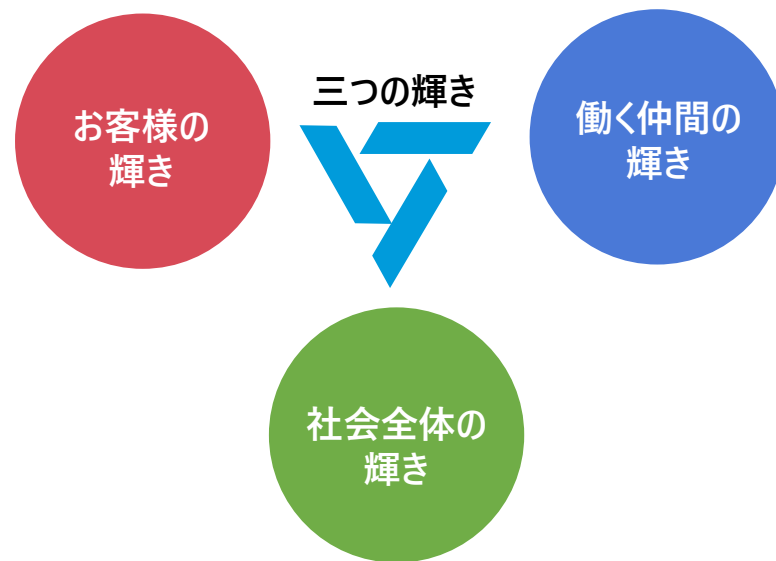
代表者 代表取締役社長 佐藤輝明

本社所在地 大阪府八尾市山賀町六丁目82番地2

事業内容 金属部品鋳造及び加工事業

資本金 3億7,365万円（2025年6月末時点）

従業員数 連結 829名
単体 56名（2025年3月末時点）



経営戦略

マグネシウム合金部品を中心とした電動車・自動運転関連軽量化ソリューションを戦略ドメインと定め、電動車等の普及に伴う市場拡大による成長機会を捉えます。2025年度から始まる3年間の中期経営計画では、特に、技術・品質の向上と生産能力拡大を図るため、設備投資やM & A等を積極的に行っていく方針です。

会社概要 - 沿革



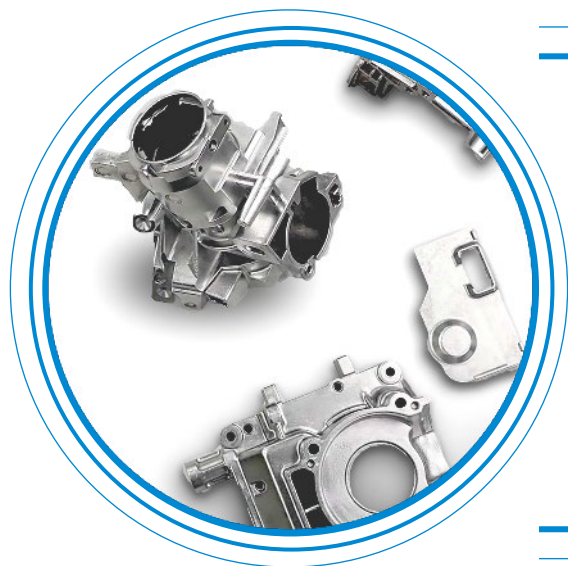
受賞歴 award history

- 2015 年
経済産業省ダイバーシティ経営企業100選に選ばれる
- 2017 年
ジャパンベンチャーアワード（JVA）2017 中小機構理事長賞 受賞

（注）ブラスト加工とは粒状の研磨材を投射、衝突させることで物理的に加工を行う工法。

会社概要 - 事業内容

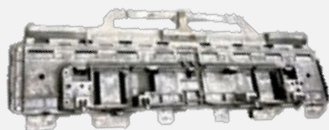
未来の社会に貢献する、軽量化ソリューションを創造しています。



実用金属で最も軽いマグネシウムを中心とした
様々な工業製品の部品を製造加工することを得意としている会社であり
金型の設計・製造、金属部品の鋳造、機械加工、ショットブラスト、仕上げ、
化成処理、塗装、組立までを行う事業を展開しております。
アルミニウムダイカストについては、品質を維持しつつ、
軽量化とコストダウンをはかることを目的としたグローバル企業に製品を供給しています。

会社概要 - 事業内容(主な取扱製品)

自動車メーターパネル



業界 自動車メーカー
材質 マグネシウム合金

光学機器フルサイズ ミラーレスの外装シャーシ



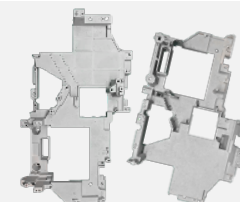
業界 映像機器メーカー
材質 マグネシウム合金

監視カメラ



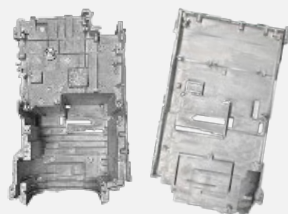
業界 映像機器メーカー
材質 アルミニウム合金

エンジンベース



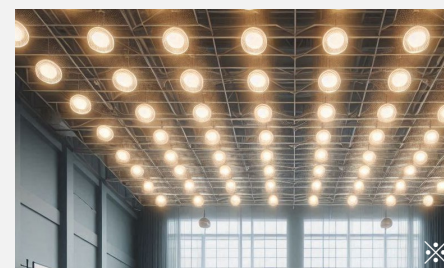
業界 映像機器メーカー
材質 マグネシウム合金

ムービーカメラのハウジング



業界 映像機器メーカー
材質 マグネシウム合金

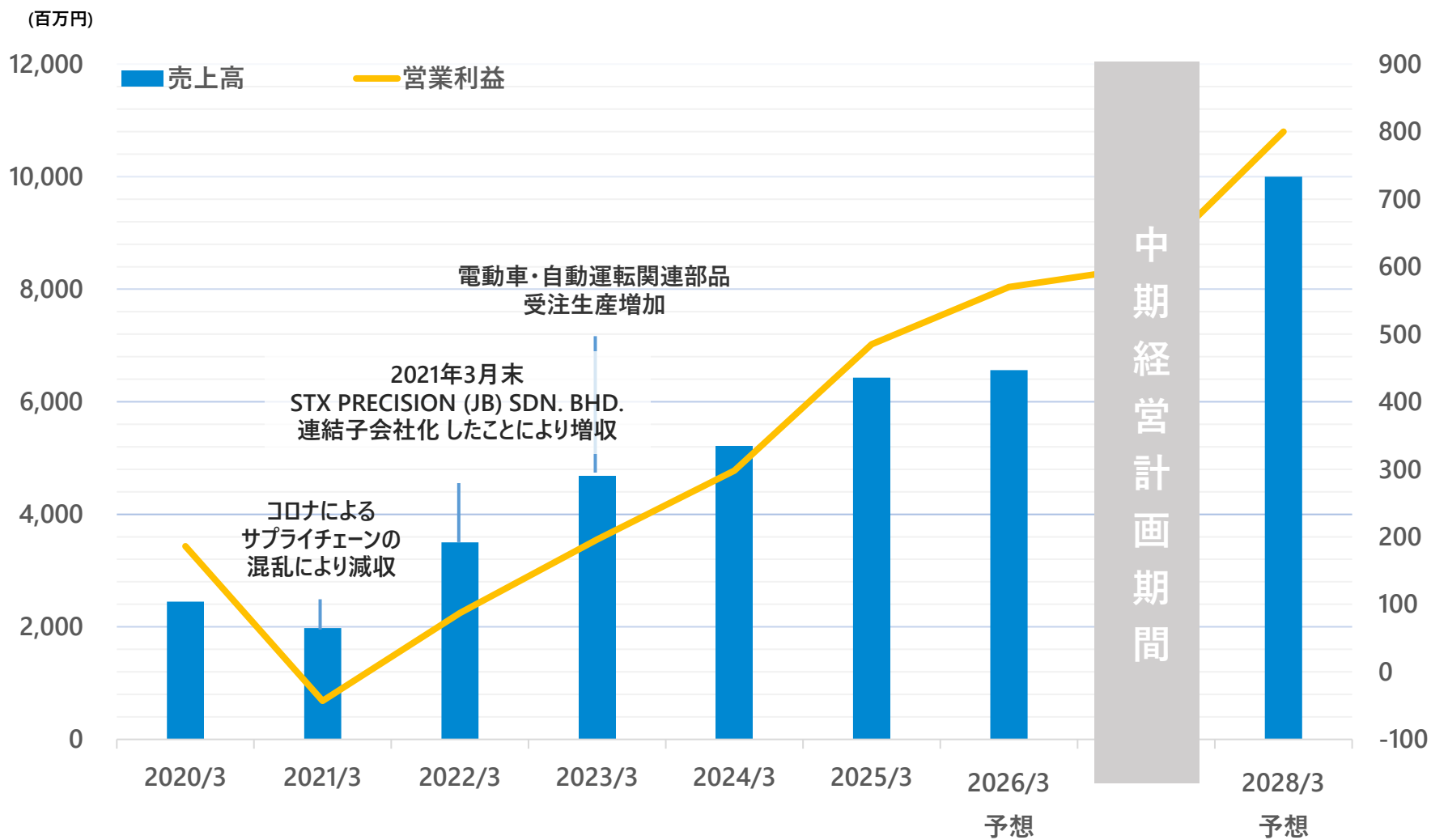
LEDヒートシンク



業界 照明機器メーカー
材質 マグネシウム合金

※ 画像はイメージ画です

業績推移



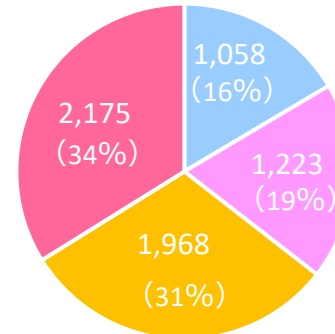
**M & A実施により
成長スピードを加速**

拠点別業績状況

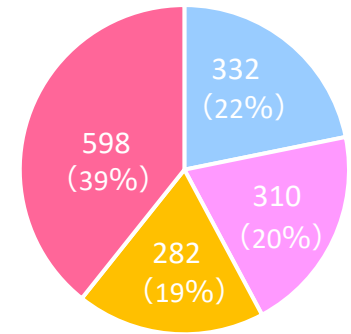
※2025年3月期時点



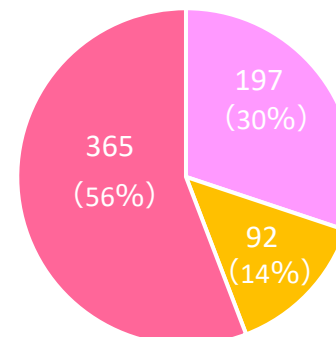
売上高
6,426百万円



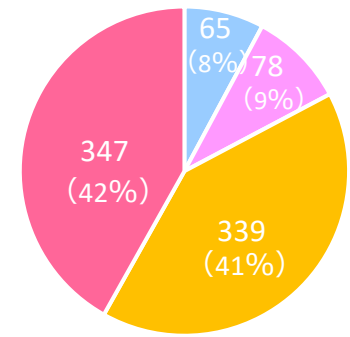
売上総利益
1,523百万円



経常利益
513百万円



従業員数
829名



日本 中国 タイ マレーシア

※売上高・売上総利益・経常利益の地域ごとの金額は、生産地を基礎として、分類しております。
なお、中国には香港を含んでおります。

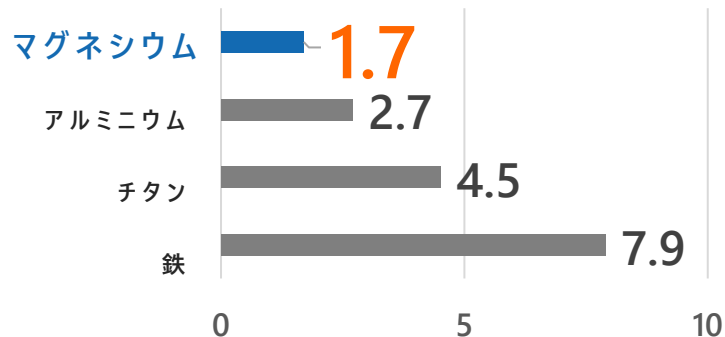
※2025年9月のM & Aにより、マレーシアが2拠点体制となります。

特徴と強み - 製品の特長

マグネシウムの特性の活用

実用金属としては最軽量であり、プラスチックより強く、アルミニウムより軽いという特徴を持っております。

金属の比重



その他の特徴

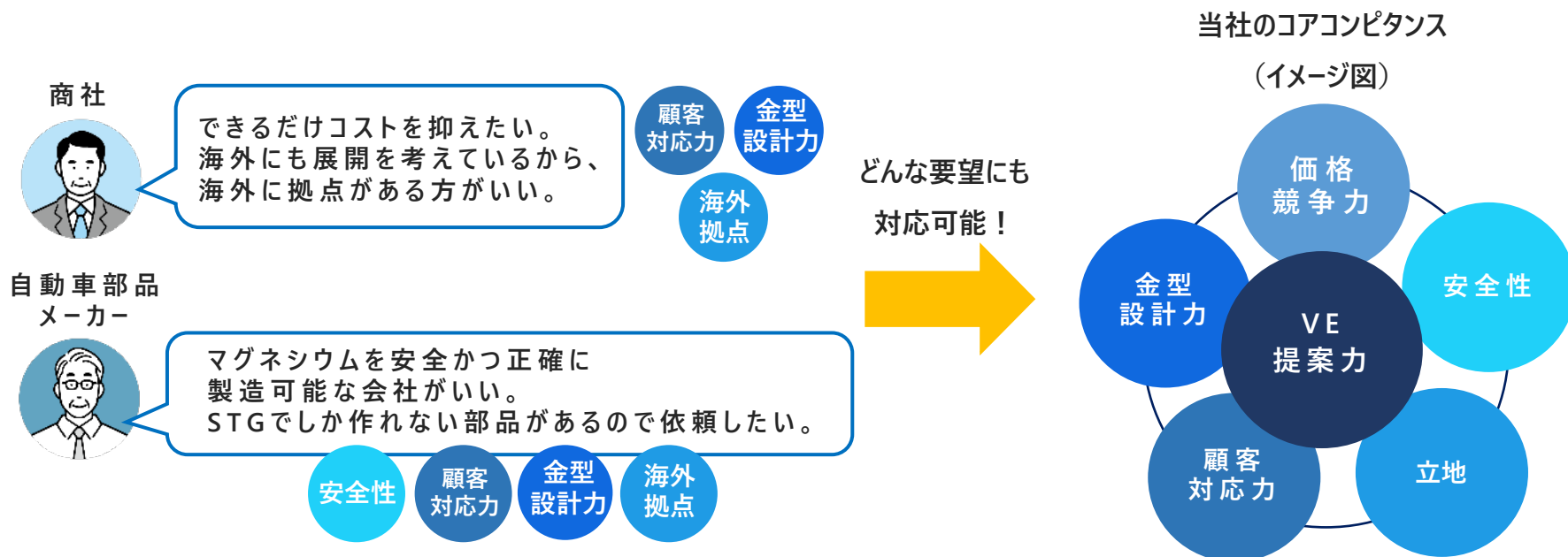
- 比強度、比剛性が鋼やアルミニウムより優れています
- 実用金属中最大の振動吸収性を有しています
- 切削性・耐くぼみ性が優れています
- 温度や時間に変化しても寸法変化が少ないです
- リサイクルして再生使用することができます

特徴と強み - 当社グループの強み

- ◆ 様々なバリエーションの最終製品への部品提供が出来る技術力
- ◆ グローバル化が進むメーカーの生産体制に対応可能

VE (バリューエンジニアリング) 提案力

製品の性能、機能を維持または向上させつつコストダウンをはかった提案



特徴と強み - 当社グループの強み

国内大手メーカーが参入していない市場

▶ 国内大手メーカーが参入していない市場である理由

マグネシウム合金部品に関しましては、現状において参入障壁が高いと考えています。

マグネシウムは発火しやすいという特徴があり、加工には火災や爆発などの危険を伴います。

このため、安全確保を行いながらの作業が求められます。

また、マグネシウムは腐食しやすいこと、成型加工が難しいことなどから、新規参入が難しく、競争が少ない状態が続いています。

マグネシウム合金を
取り扱う難しさ



危険性



腐食しやすい



成型加工が難しい

当社グループには、日本初のマグネシウム専門メーカーであった株式会社東静工業（後の、株式会社TOSEI。現 当社静岡工場）が含まれておりマグネシウムの扱いには、長年の経験とノウハウを有しております。

特徴と強み - 当社グループの強み

価格競争が起こりにくい環境

マグネシウムは、取り扱いが難しく作業中の爆発事故等が多く発生したことにより、過去、大手メーカーが撤退し、ライバル企業が少ないニッチビジネスであり、**価格競争が起こりにくい環境**にあります。

取引先

マグネシウム合金部品による軽量化を検討中



どこに依頼しようか？



寸法制度の厳しい
製品への対応を
依頼したい。



量産にむけて
大口で発注したい

製品依頼をする会社が限られている



自動車関連からの需要が急増
情報通信機器や精密電気機器からの需要

 株式会社 STG

- ・ライバル企業が少ない
- ・国内大手メーカーが参入していない
- ・新たな企業による参入がほとんどない

一定の顧客を囲い込むことで、さらに大きなビジネスに展開

2026年3月期第1四半期 - 業績サマリー (P/L)

第1四半期の連結売上高・利益としては、**過去最高を更新**

売上高

1,542 百万円
前年同期比+17.8%

営業利益

113 百万円
前年同期比+83.4%

経常利益

149 百万円
前年同期比+126.4%

四半期純利益

139 百万円
前年同期比+181.0%

単位：百万円

	2025年3月期 1Q実績	2026年3月期 1Q実績	前年同期比	
			増減額	増減率 (%)
売上高	1,308	1,542	+234	+17.8%
営業利益	61	113	+52	+83.4%
営業利益率	4.7%	7.3%	+2.7%	-
経常利益	65	149	+84	+126.4%
経常利益率	5.0%	9.7%	+4.7%	-
親会社株主に帰属する 四半期純利益	49	139	+90	+181.0%

2026年3月期第1四半期 - 業績予想サマリー（P/L）

売上高の進捗率は、営業日数が少ないため、25%を僅かに下回った。

しかしながら、経常利益及び四半期純利益は、海外拠点の1Q末（3月末）時点での為替差損があったものの、補助金収入等により進捗率が25%を上回った。

単位：百万円

	2026年3月期 通期予想	2026年3月期1Q 実績	進捗率
売上高	6,560	1,542	23.5%
営業利益	570	113	19.9%
営業利益率	8.7%	7.3%	—
経常利益	575	149	25.9%
経常利益率	8.8%	9.7%	—
親会社株主に帰属する 四半期純利益	423	139	32.9%
1株当たり当期純利益	205円49銭	67円77銭	33.0%

M & Aについて - 会社概要

名称

E-Cast Industries Sdn. Bhd.

事業内容

アルミニウムのダイカスト部品製造・販売

代表者

Goh Kheng Theam

所在地

Plot 3, Lorong Industri 2, Taman Industri Bukit Panchor, 14300 Nibong Tebal Penang Malaysia

設立年

1990年10月8日

資本金

63百万円 (1,800千リンギット)
(2025年6月末時点)

従業員数

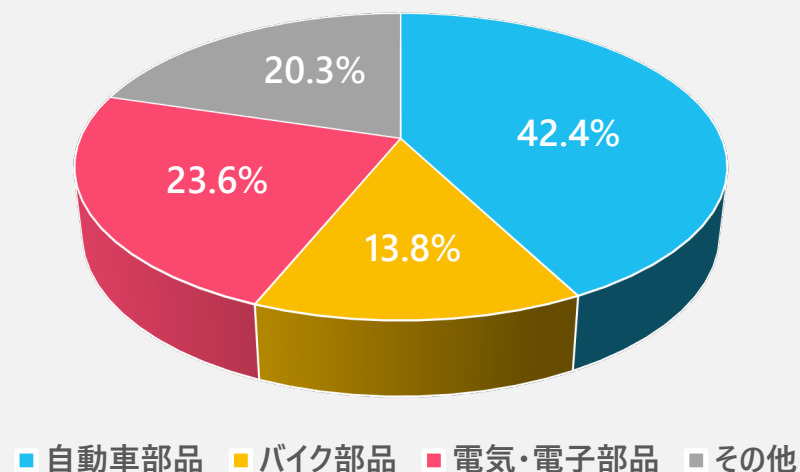
188名 (2025年6月末時点)



M & Aについて - E-Cast Industries Sdn. Bhd. の特長

E-Cast Industries Sdn. Bhd.は、マレーシア北部のペナン州に拠点を置き、大手グローバルメーカーを主要顧客とするアルミニウムダイカストメーカーです。自動車部品や電気電子機械部品など幅広い製品に対応可能な技術力及び高い品質基準を兼ね備え、精密な部品を安定供給しています。

製品別構成比（2024年12月期）



財務状況（2024年12月期）

純資産	802百万円 (22,919千MYR)
総資産	1,212百万円 (34,648千MYR)
売上高	1,485百万円 (42,443千MYR)
営業利益	362百万円 (10,357千MYR)
当期純利益	287百万円 (8,206千MYR)

※マレーシアの現地会計基準MPERSに基づき作成された数値となります。

※為替レートは、1MYR＝35円にて換算しております。

M & Aについて - 期待する買収効果

- 1 継続して毎期利益を計上しており、売上高営業利益率が当社グループより高い。**（2024年12月期24.4％）**
- 2 品質基準が厳しい大手製造メーカーを取引先としており、高い技術レベルが期待できる。
- 3 設備稼働率に余裕があり、現マレーシア子会社の外注先として活用できる。
- 4 米中摩擦などにより、生産拠点を中国からA S E A Nへ移転させる動きがあり、日系・欧州系などのメーカーからの新たな受注が期待できる。
- 5 当社のマグネシウムダイカストの製造方法に近いダイカスト（ホットチャンバー方式）を行っていることから、マグネシウムダイカスト技術を移転しやすい。

本件 M & A に関する資金調達

買収資金については、金融機関からの借入及び自己資金により実施いたします。

【借入の概要】		【取得価額】	
① 借入先	紀陽銀行、池田泉州銀行、滋賀銀行	E-Cast社の普通株式	2,065百万円
② 借入金額	2,000百万円	アドバイザー費用等 (概算額)	152百万円
③ 借入金利	固定金利及び変動金利		
④ 借入実行日	2025年9月29日（予定）	合計（概算額）	2,217百万円
⑤ 返済期限	10年	※取得価額につきましては、当事者間での協議の上、今後変動する可能性があります。	
⑥ 担保の有無	無担保無保証	※普通株式2,065百万円の内、不動産時価が約1,000百万円です。	

中期経営計画

マグネシウム合金部品を主軸とした軽量化部品事業のグローバルニッチカンパニーとして収益拡大を目指します。

中期経営計画（Challenge 100）計画期間2025年度～2027年度

コンセプト	同業他社にはない独自の技術力をもとに成長し、事業の拡大を実現させます
ビジョン	マグネシウム合金部品を中心とした電動車軽量化ソリューションに加え、製品の軽量化を希求するお客様への精密・高品質な部品供給をすすめ、電動車等の普及や製品の軽量化に伴う市場拡大による成長機会を捉えます
ビジョンへの課題	生産能力の向上、人員の確保 収益力を維持拡大させるための技術の継承 課題を解決させるための積極的な資金調達
成長戦略	長期目標としての連結売上高300億円・連結営業利益30億円を確実に達成させるために上記課題に取り組みます。 マグネシウム合金部品の生産拡大とともに、シナジー効果が見込める現事業の周辺領域企業のM & Aを積極的に推し進め、長期目標達成への礎を築き、成長スピードを一層高めます
計画終了時の数値目標	連結売上高100億円・連結営業利益8億円（M & Aによる増加を含む）

中期経営計画 - 概要

既存事業については、年率10％程度の売上高成長率を維持。

収益性を大きく改善させ**既存事業での営業利益率10％超**を目指します。

M & Aは、生産能力向上等を目的として取り組み、中期経営計画（3年間）の期間中においては、利益目標をゼロとします。なお、M & Aは、**年間1案件以上の取組み**ができるように国内・国外を問わず情報収集を進めてまいります。

（単位：百万円）	2025年3月期 （実績）	2028年3月期 （目標）	成長率/年率
連結売上高	6,426	10,000	22％
（既存事業）	6,426	8,000	11％
（M & A）	—	2,000	—
連結営業利益	485	800	37％
（既存事業） 営業利益率	7.5％	10.0％	—
（M & A） 営業利益率	—	0	—

中期経営計画 - 概要

◆ 成長指標

		2026年3月期（予想）	中期経営計画 2028年3月期（目標）
K P I	マグネシウム 売上高 ^(注1)	3,196百万円	4,000百万円
	EBITDA ^(注2)	982百万円	1,300百万円
株主還元	配当金	20円	25円以上 配当性向10%～20%

(注1) 選定理由：長期的に見てマグネシウム部品を採用する工業製品の拡大に対応していくため。

(注2) 選定理由：成長過程において積極的な設備投資が必要であり、これを勘案した収益指標であるため。

（業績目標の前提条件）

① 想定為替レートは、直近の相場から横這い圏で変動するものと仮定しています。

（USD：150円 HKD：19.3円 RMB：20.6円 THB：4.4円 MYR：34円）

② 原材料価格等も、直近の相場から横這い圏で変動するものと仮定しています。

M & Aによる中期経営計画へのインパクト

中期経営計画においては、M & Aは売上増加20億円、営業利益増加ゼロを目途としていました。今回、高収益企業の買収により、最終目標値への実現に大きな一歩となりました。

(単位：百万円)	2025年3月期 (実績)	2028年3月期 (目標)
連結売上高	6,426	10,000
(既存事業)	6,426	8,000
(M & A)	—	2,000
連結営業利益	485	800
(既存事業) 営業利益率	7.5%	10.0%
(M & A) 営業利益率	—	0

売上高
売上高1,485百万円の
会社を買収
(前期実績)

対象会社の前期営業利益
362百万円

営業利益率
営業利益率24.4%の
会社を買収
(前期実績)

※当事業年度の連結業績への影響につきましては、現在精査中です。

併せて、中期経営計画の目標も更新する予定です。

※のれんの計上額は（5億円～7億円程度）と見込んでおります。

（10年の償却を計画しており、年間償却額は50百万円～70百万円程度を見込んでいます。）

➡ 年間3億円程度の営業利益増額効果を期待しています。

本資料の取扱いについて

本資料は、情報提供を目的として当社が作成したものです。

本資料には、将来の見通しに関する記述が含まれおり、これらの将来の見通しに関する記述は、本資料の日付時点において当社が利用可能な情報に基づいて作成されています。これらの記述は、将来の結果や業績を保証するものではありません。このような将来予想に関する記述には、既知及び未知のリスクや不確実性が含まれており、その結果、将来の実際の結果や業績は、将来予想に関する記述によって明示的又は黙示的に示された将来の結果や業績の予測とは大きく異なる可能性があります。これらリスクや不確実性には、国内および国際的な経済状況の変化や、当社が事業を展開する業界の動向などが含まれますが、これらに限定されるものではありません。また、本資料に含まれる当社以外に関する情報は、公開情報等から引用したものであり、かかる情報の正確性、適切性等について当社は何らの検証も行っておらず、またこれを保証するものではありません。